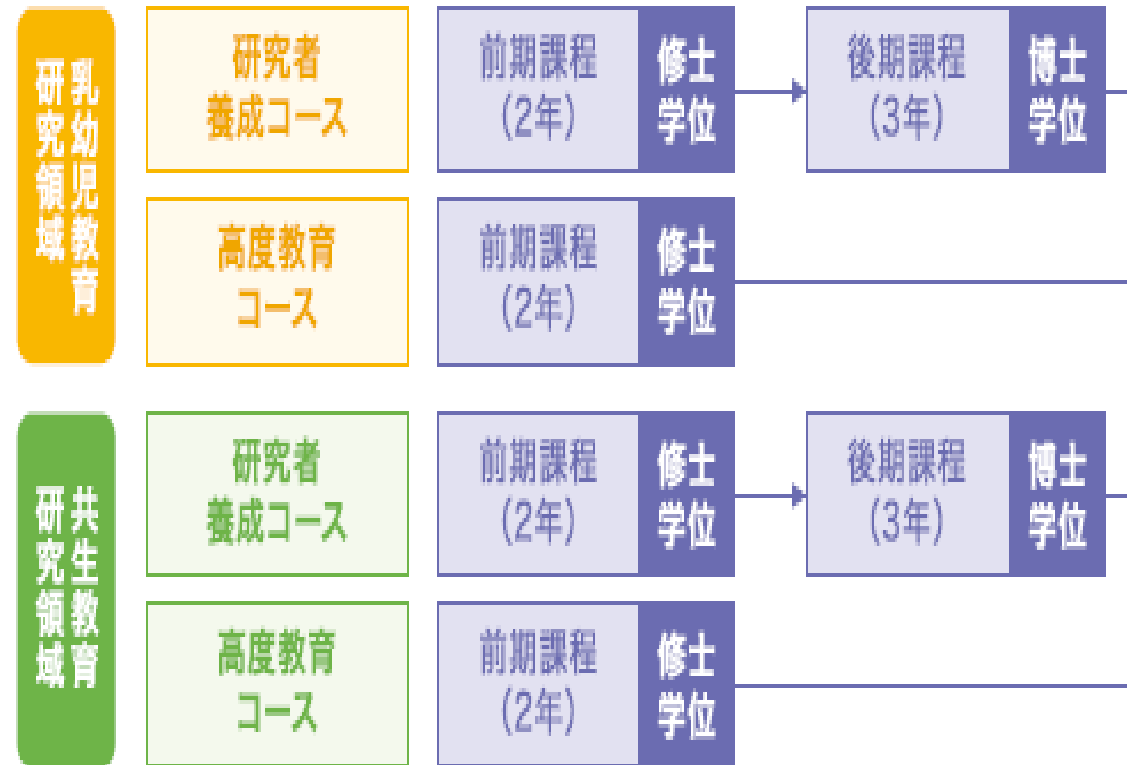


関西学院大学大学院 教育学研究科について



Graduate School of Education

教育学研究科の構成



教育学研究科の教育理念と構成

子ども理解

教育とは何か

人間とは何か

共生とは何か

人間形成上の諸問題に向き合う教育と研究

乳幼児教育
研究領域

保育
内容

乳幼児
教育

子ども
家庭
福祉

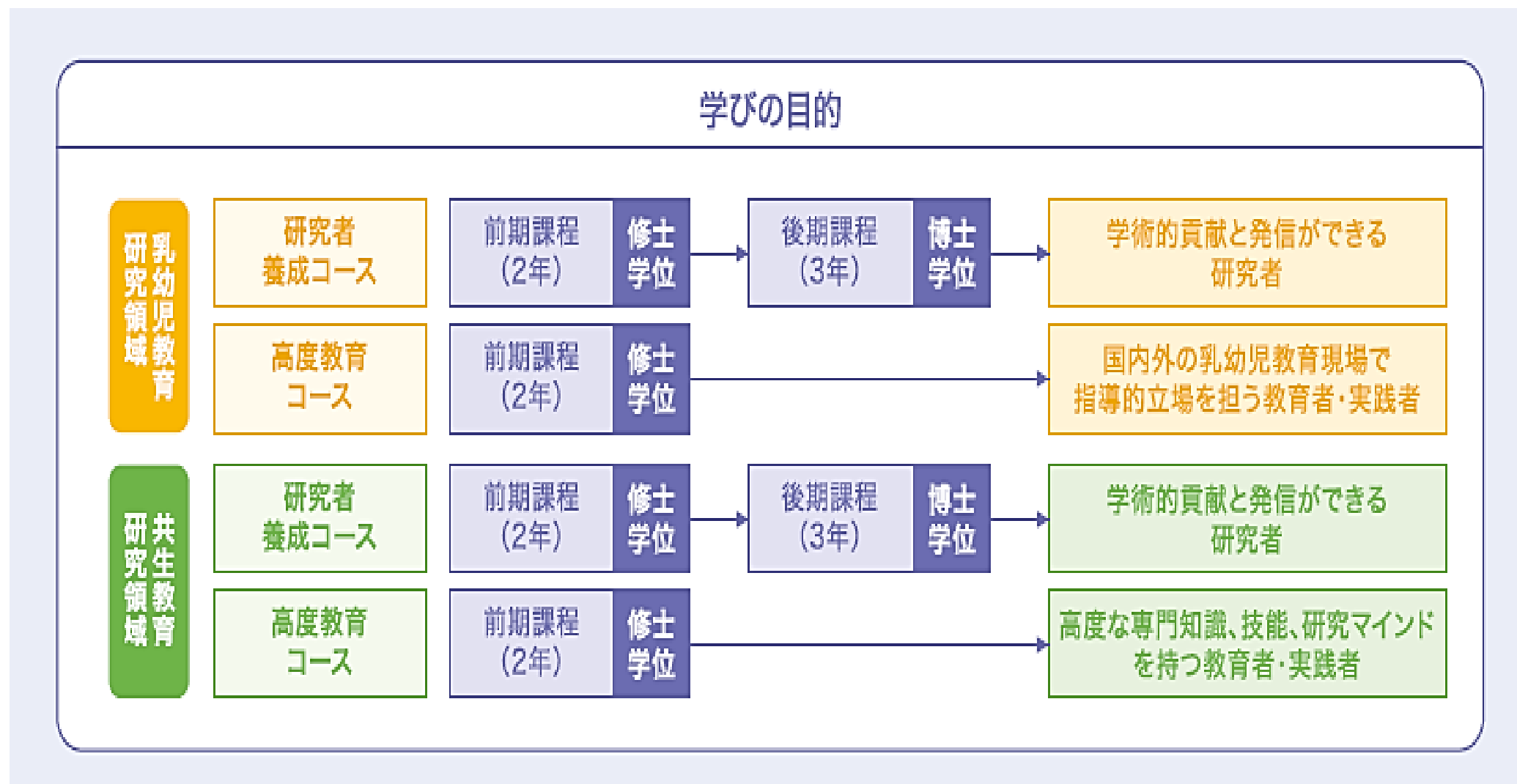
共生教育
研究領域

臨床
教育

学校
教育

インク
ルーズ
教育

学びの目的



ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）

教育学研究科は、教育研究上の目的に基づき、博士課程前期課程と博士課程後期課程において、ディプロマ・ポリシーに定める要件を満たす学生に対し、以下の学位を授与する。

前期課程→修士（教育学）

後期課程→博士（教育学）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

博士課程前期課程

乳幼児教育研究領域カリキュラム
共生教育研究領域カリキュラム

表) カリキュラム科目区分と必修単位数

科目区分	研究者養成コース	高度教育コース
研究基礎科目	12	2*
領域専門科目	—	—
フィールドワーク科目	—	2
研究演習	8	8
修了要件修得単位数	32	32

*選択必修

前期課程フィールドワーク

テーマ	フィールドワークの目的	フィールドワークの内容
理科教育 環境教育	<ul style="list-style-type: none">① 都市開発による水田の孤立化が与える水田生態系への影響とその教材化② 学校のビオトープに生息する生物相調査とその教育化	<ul style="list-style-type: none">① 西宮市内・宝塚市内の孤立化した田んぼと孤立化していない田んぼの生物調査とその教材化。合計6筆の水田で調査を毎月実施。② 西宮市内の小学校8校のビオトープを毎月調査。イトトンボの行動範囲を調査している。
保育思想	<ul style="list-style-type: none">① デンマークの幼児教育および保育者養成の歴史を知る② 養成校や保育現場での男性保育者の役割と現状を知る	デンマークの保育者養成校と保育現場を訪ね、男性保育者の悩みややりがい、今後の保育における男性保育者の見通し等についてインタビューを行う。
食育	研究課題「中国α省の小学校における昼食の実態調査と給食導入への動向（仮題）」に向けて <ul style="list-style-type: none">① 学校給食の知識と理解を深めるため② 調査方法を学ぶため	尼崎市内小学校における給食や食育活動を観察、栄養教諭や担任へのインタビューなど。

副専攻 国連・外交コース

関西学院大学大学院
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

国際公共分野で活躍するプロフェッショナル人材を目指す

関西学院大学 大学院副専攻

国連・外交コース

Kwansai Gakuin University Graduate School
The Graduate Course in
United Nations and Foreign Affairs Studies

詳細は、大学院入試情報ページをご覧ください。



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）



博士課程後期課程

研究演習： 指導教員の下で博士論文を作成

教育学特殊講義： 様々な領域への学びと探究を促す

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

博士課程前期課程 研究者養成コース

1. 保育学・教育学領域における**研究者をめざす者**。
2. 保育学・教育学領域における学部卒業程度の専門知識を獲得し、日本語の論理的文章表現能力を有する者。
3. 研究活動に必要となる保育学・教育学領域における**英語文献読解**のための基礎的能力を有する者。
4. 関西学院のキリスト教主義に基づく教育理念と本研究科の教育研究上の目的に共感する者。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

博士課程前期課程

高度教育コース

1. 研究マインドをもった**高度な保育・学校教育の実践者をめざす者**。
2. 保育学・教育学領域における学部卒業程度の専門知識を獲得し、日本語の論理的文章表現能力を有する者。
3. 保育・教育現場において**奉仕的なリーダーシップ**を発揮することを自己の使命であると自覚し、学問を通じてさらなる研鑽を積みたい者。
4. 関西学院のキリスト教主義に基づく教育理念と本研究科の教育研究上の目的に共感する者。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

博士課程後期課程

1. 保育学・教育学領域における研究者として自立し、**さらなる研究活動を自ら推進する**能力を有する者。
2. 保育学・教育学領域における修士課程修了程度の専門知識を獲得し、優れた日本語の論理的文章表現能力を有する者。
3. 研究活動に必要となる保育学・教育学領域における**英語文献読解のための優れた能力**を有する者。
4. 関西学院のキリスト教主義に基づく教育理念と本研究科の教育研究上の目的に共感する者。

入試について

入試種別		試験科目		
		口頭 試問	専門 科目	専門 外国語
前期	研究者養成コース 推薦	○	—	—
	研究者養成コース 一般	○	○	○
	高度教育コース 一般・外国人留学生	○	○	—
後期	推薦 (※)	○	—	—
	一般	○	○	○

※研究者養成コースを修了し、引き続き後期課程への進学を希望する者に限る。

入試について

		前期課程 (研究者養成コース)		前期課程 (高度教育コース)		後期課程	
第1次入試	出願期間	2022年8月22日(月)～8月29日(月)				期間内必着	
	試験日時	9月6日(火)	10:00-11:30	専門科目※	専門科目※		
			12:30-14:00	専門外国語(英語)			
		9月7日(水)	10:00-	口頭試問	口頭試問		
合格発表日	9月16日(金) 9:00より事務室前に掲示(速達で志願者全員に通知を送付)						
第2次入試	出願期間	2023年2月8日(月)～2月15日(月)				期間内必着	
	試験日時	2月21日(火)	10:00-11:30	専門科目※	専門科目※	専門科目※	
			12:30-14:00	専門外国語(英語)		専門外国語(英語)	
		2月22日(水)	10:00-	口頭試問	口頭試問	口頭試問	
合格発表日	3月3日(金) 9:00より事務室前に掲示(速達で志願者全員に通知を送付)						

※乳幼児教育研究領域は保育学、心理学等から出題する。※共生教育研究領域は教育学、心理学等から出題する。

<前期課程>推薦入試募集について

募集領域・コース

乳幼児教育研究領域 研究者養成コース

共生教育研究領域 研究者養成コース

出願資格

次の各項のすべてに該当する者。

- ①本学教育学部4年生に在籍し、その年度の卒業見込の者。
- ②関西学院大学大学院教育学研究科を専願する（入試に合格した場合入学を確約できる）者。
- ③出願時、前年度秋学期までの通算GPAが3.00以上であること。

※ 入学後、専門外国語学力認定試験を受験するものとする

推薦願提出期間：2022年6月1日（水）～6月29日（水）

<後期課程>推薦入試募集について

募集領域・コース

乳幼児教育研究領域

共生教育研究領域

出願資格

次の各項のすべてに該当する者。

- ①研究科博士課程前期課程研究者養成コースに在籍中で、修了見込の者。
- ②関西学院大学大学院教育学研究科後期課程を専願する（合格した場合には入学を確約できる）者。
- ③出願時、前年度秋学期までの通算GPAが3.00以上であること。

※ 入学後、専門外国語学力認定試験を受験するものとする

書類提出期間：2022年11月10日（木）～11月16日（水）

取得できる免許・資格

- ・ 幼稚園教諭専修免許状
- ・ 小学校教諭専修免許状
- ・ 中学校教諭専修免許状（社会）
- ・ 高等学校教諭専修免許状（公民）

※専修免許状の取得にあたっては、
基礎となる一種免許状を取得済または取得見込みの必要があります。

※後期課程在学生対象ですが、専修免許状取得のための学内他研究科履修
および博士課程前期課程授業科目の履修をすることが可能です。

聖和キャンパスの生活



授業風景



研究報告会



メディア室



院生控室

主な進路（就職先・進路）

- 大阪教育大学
- 神戸松蔭女子学院大学
- 桃山学院大学
- 関西学院初等部
- 関西学院幼稚園
- 高知県教育委員会（小学校）
- 奈良県教育委員会（小学校）
- 兵庫県教育委員会（小学校）
- 広島女学院ゲーンズ幼稚園
- 丸亀市教育委員会（幼稚園）



学費

2023年度入学生の学費は未定です。
参考までに2022年度入学生学費を掲載します。

(単位：円)

前期課程	
入学金	200,000 (200,000)
授業料	343,500 (687,000)
教育充実費	103,500 (207,000)
合計	647,000 (1,094,000)

() 内は年額

(単位：円)

後期課程	
入学金	200,000 (200,000)
授業料	216,000 (432,000)
教育充実費	65,500 (131,000)
合計	481,500 (763,000)

() 内は年額

ベーツ奨学金（関西学院大学大学院支給奨学金）

	ベーツ特別支給奨学金	ベーツ第1種支給奨学金
奨学金額 (年額)	学費相当額（万円未満切り捨て）	学費の1/2相当額(万円未満切り捨て)
	※学費＝授業料＋実験実習費＋教育充実費 ※実験実習費は在籍する研究科で全員一律にかかる金額を対象とする	
出願資格	留学生以外の正規学生で、博士課程前期課程及び後期課程、専門職学位課程の新生 学力により選考し、家計事情は考慮しない。	標準修業年限内に在学する留学生以外の正規学生及び特別学生(社会人・外国大学卒業生・一般)で、ベーツ特別支給奨学金を受給していない学生 学力により選考するが、家計事情にも配慮する。
採用期間	1年間	
採用方法	各研究科推薦制	公募制
採用人数	57名	190名
交付方法	年額を春秋2回に分けて交付 *春学期は入学手続きと同時に行う	年額を春秋2回に分けて交付

(詳細は大学院総合案内HPにてご確認ください)



大学院生への研究奨励制度

名称	支給額	期間	支給人数	対象
大学院博士課程後期課程研究奨励金	学費相当額	1年間	年間25名	若手研究者である博士課程後期課程の在学者のうち、研究能力が特に優れており、研究成果が期待できる者
リサーチ・アシスタント (RA)	月額100,000円 (または1時間あたり1,500円の時間給)	1年間 (更新可能)	別途定める	関西学院大学大学院の各研究科、研究所などにおいて、特定の研究課題または共同研究プロジェクトなどの研究補助を行う博士課程後期課程在学者
教学補佐 (TA)	担当業務により異なる 例: ①学部学生の自習支援などの授業補佐 1週1講時あたり: 月額11,200円 ②研究室・図書館・PC教室運営などの教育支援業務 1時月額33,600円 1時月額61,600円 ③試験監督など教務事務の補助: 月額50,000円	1年間 (更新可能)	各研究科により定める *2018年度はM・Dで約401名採用(在籍者数の約39%)	大学院学生、大学院研究員、専門職大学院研修員または研究科研究員。 授業の補佐、研究室・図書館運営などの教育支援業務、または教務事務の補助を行いながら研究できる制度
大学院奨励研究員	月額250,000円	1年間	年間5名以内	関西学院大学大学院博士課程後期課程に2年以上在学している者、または大学院博士課程後期課程に標準年限以上在学後退学し、博士課程後期課程入学後5年以内の者で、1年(最長2年)以内に博士学位論文を提出する見込みのある者(本務職に就いている者を除く)。文系研究科に限定
博士研究員	月額278,000円~378,000円	1年間 (更新可能)	理工学研究科: 3名 そのほか: 別途定める	博士学位を有する者(人文・社会科学の分野においては博士学位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者も可)で、大学院における研究の活性化の担いになることが期待できる人物
大学院海外研究助成金	海外での学会発表(口頭発表もしくはポスター発表)、海外で行う調査、海外の大学で実施される短期講習時の参加費、交通費、宿泊費などを補助します。 支給金額は本人からの申請に基づき経費相当額の金額または一部(上限10万円・上限20万円の2種類)を支給します。	年間1回 (再申請可) *ただし通算3回を超えることはできない	上限10万円: 2人 上限20万円: 30人	若手研究者である博士課程後期課程在学者および大学院研究員の海外における研究活動の支援・育成を目的として、海外における優れた個人研究や共同研究に要する経費を支給する助成金です。 英語で学会発表などを行う場合は、英語プレゼンテーション・スキル講座(年2回開催 詳細は5月に掲示します)を受講するようにしてください。
研究成果公開促進助成制度	研究誌などへの投稿・掲載などに係る論文投稿料、論文審査料、論文掲載料および論文投稿のための外国語校閲料の全部または一部を補助します。	1年間 (詳細は該当年度の応募要領を参照)	予算の範囲内で選考・採択	・博士研究員 ・大学院博士課程(前期・後期)在学者および大学院研究員 ・研究科研究員(詳細は該当年度の応募要領を参照)

< 大学院博士課程後期課程研究奨励金 >
優秀な若手研究者(後期課程)に学費相当額を1年間支給する制度。年間25名支給されます。

< 大学院海外研究助成金 >
海外での学会発表や調査、短期講習にかかる費用の補助。2021年度はコロナ禍のため採用者は1名でしたが、2020年度は、22名採用されています。

(詳細は大学院総合案内HPにてご確認ください)



またお会いできることを楽しみにしています。



KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL